

学習障害のある人たちへの理解と支援について考える

— LD / ディスレクシアのある人たちってどんなふうに変なの？ どう支援したらいいの？ —

LD/ディスレクシアとは

LDとは日本語で学習障害のことです。Learning disabilities の頭文字をとってLDと呼んでいます。文部科学省は「知的発達に大きな遅れはないのに、学習面で特異なつまずきや習得の困難をもつこと」と定義しています。

ディスレクシアはLDの一種で、特異的LD (spLD) とも呼ばれています。とくに読み書きに困難を伴う場合を指します。耳から入る情報、目から入る情報などが正確に自動的にすばやく処理ができないことから起こる症状ですが、まったく読めないというわけではありません。

どんなふうに変ですか？

ディスレクシアの子どもは、読み書きに難しさを感じています。以下は特徴の一部です。

- ・一字ずつひろい読みをする
- ・行を飛ばす、どこを読んでいたかわからなくなる
- ・似た形の字を間違える
- ・伸ばす音がわからない(たとえば、「おとうさん」)
- ・へんとつくりを間違える
- ・同じ漢字でも違う読み方をする漢字が苦手

読み書きが困難だと国語だけではなく、算数の文章題がわからないこともあります。また、記憶に問題があると暗算が難しかったり、桁を間違えたりすることもあります。さらに日本語ではほとんど問題がないように見えたのに、中学校に入って英語の勉強が始まると、とたんに混乱してしまう生徒も少なくありません。



回答者

NPO 法人エッジ会長
藤堂栄子氏

プロフィール

NPO法人エッジ会長。
一般社団法人JDDNET 副理事長。
慶應義塾大学卒業。欧州共同体委員会駐日代表部広報部勤務、フリーランス通訳者を
経て平成7年より(株)ToDo Planning代
表。平成13年より、NPO法人エッジ会長。
現在、大学院教育学専攻に在学中。

著書

明石書店「ディスレクシアってなあに？」
翻訳、一部著作
ぶどう社「ディスレクシアでも大丈夫！」著
ぶどう社「学習支援員のいる教室ー通常の
学級でナチュラルサポートを」編著
東京書籍「私のディスレクシア」監訳

他

当記事は9月20日成城ホールで行った講演会の内容をもとに、NPO法人エッジのHPを参考にして作成しました。LD/ディスレクシアについて詳しくは下記ホームページをご覧ください。
[NPO法人エッジHP] <http://www.npo-edge.jp/>

本人が一番 つらいですね…

いけないことは、自分を馬鹿だ
と思ってしまうことです。わかっ
ているのに評価されないという
大変さもあります。時間が足りな
くて間に合わないということも
あります。自分が他の人とどう違
うのかがわからないことが、本人
を一番苦しめます。

大人になった ときのイメージが しにくいの ですが…

ディスレクシアの困難さというのは大人になっても変わりません。学習に関することなら、小さいときから勉強したことが積みあがっていかないというつらさがあります。これは色々な配慮とか機器とか勉強の仕方を変えることで、ずいぶん補えるようにはなっています。

息子は大きくなってからディスレクシアと診断され、ラーニングスキルとしてパソコンのタッチタイピングや、思考をまとめるためのマインドマップというやり方を身につけることを勧められました。これらはすごく役に立ちました。今では建築家として国際的に活躍しています。

支援の方法がわかりません

見やすい工夫

例えば、ディスレクシアの人は文章がぐちゃぐちゃに見える場合があります(図右上)。光の加減によって見づらい刺激になることがあるので、色のシートを通すことによって、文字が落ち着くことがあります(図右下)。また、字体は丸ゴシック体の12ポイント位が一番見やすいだろうといわれていますが、個人差はあります。

他には、文章を簡潔にして、行間をきちんと空けてあげたり、文体をわかりやすいものにしてあげたりするのも有効な場合があります。文章に漢字があることによって、意味を捉えることができたりして助かることもたくさんあります。

道具やパソコンを使った支援

道具やパソコンを使った支援は、それが合う子もいれば合わない子もいます。その子に合ったアプリケーションを見つけてほしいと思います。

「できること」「得意なこと」から

「できること」「得意なこと」はいっぱいあります。芸術的なセンスが非常に優れている人、認知能力が高い人が多いです。しかし、読むことが知識の入口であることが多いので、つらくなってしまう。体験することに勝つことはありません。

本を読もうと思ったのならそれだけで良いことなんです。そこで読みまちがえて怒られたら、もう読むこと自体が嫌いになります。本を読んだり書くことへの抵抗感がどうしてあるのかを考えて支援してほしいです。

国語の時間に教科書を音読させると、ディスレクシアの子は文節おかしい箇所ととってしまったり、何度も途中でつかえたりとか、読み違えるとかして、スラスラ読むことができません。で育った健全な子は、ちゃんとか、ふけているのか、などと田心れます。



色のシートを通すと…

国語の時間に教科書を音読させると、ディスレクシアの子は文節のおかしな箇所ととってしまったり、何度も途中でつかえたりとか、読み違えるとかして、スラスラ読むことができません。日本で育った健全な子は、なぜ、ちゃんと読まないのか、ふざけているのか、などと思われてしまいます。

文字が落ち着くことがあります

学校教育に望むことは？

課題の量や指導方法、時間の延長をしたり、評価の方法を変えてほしいです。例えば、国語の漢字テスト以外は口頭試問で評価をしても良いと思っています。